

第7期横浜市子ども・子育て会議 第6回保育・教育部会  
第35期横浜市児童福祉審議会 第5回保育部会

日時：令和7年10月31日（金）18:00～

場所：市役所18階 みなと6・7会議室

議事次第

1 開会

2 議事

報告＜公開案件＞

【子ども・子育て会議】

- （1） こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランの点検・評価方法について

議事＜非公開案件＞

【児童福祉審議会】

- （2） 小規模保育事業の認可及び補助金交付先法人の審査について

3 その他

4 閉会

〔配付資料〕

資料1 横浜市子ども・子育て会議保育・教育部会、横浜市児童福祉審議会保育部会 委員名簿

資料2 横浜市子ども・子育て会議保育・教育部会、横浜市児童福祉審議会保育部会 事務局名簿

資料3 「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」の点検・評価方法（案）について

**第 7 期横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会**  
**第 35 期横浜市児童福祉審議会 保育部会**  
**委員名簿**

【敬称略 50 音順】

## &lt; 第 7 期横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会 &gt;

	所 属 ・ 役 職 等	委 員	備考
1	大妻女子大学 家政学部児童学科 准教授	◎石井 章仁	
2	一般社団法人ラシク 0 4 5	稲田 遼太	臨時委員
3	東京成徳短期大学 幼児教育科 教授	大澤 洋美	臨時委員
4	一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会 会長	大庭 良治	
5	子どもの領域研究所 所長	尾木 まり	臨時委員
6	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 常務理事・事務局長	斉田 裕史	臨時委員
7	公益社団法人横浜市幼稚園協会 会長	清水 純也	
8	横浜市 P T A 連絡協議会 副会長	高杉 陽子	
9	横浜障害児を守る連絡協議会 会長	森 佳代子	臨時委員
10	國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 教授	○山瀬 範子	臨時委員

## &lt; 第 35 期横浜市児童福祉審議会 保育部会 &gt;

	所 属 ・ 役 職 等	委 員	備考
1	大妻女子大学 家政学部児童学科 准教授	石井 章仁	
2	一般社団法人ラシク 0 4 5	稲田 遼太	
3	東京成徳短期大学 幼児教育科 教授	大澤 洋美	臨時委員
4	一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会 会長	大庭 良治	
5	子どもの領域研究所 所長	尾木 まり	臨時委員
6	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 常務理事・事務局長	斉田 裕史	
7	公益社団法人横浜市幼稚園協会 会長	清水 純也	臨時委員
8	横浜市 P T A 連絡協議会 副会長	高杉 陽子	
9	横浜障害児を守る連絡協議会 会長	森 佳代子	
10	國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 教授	山瀬 範子	

◎：部会長      ○：職務代理者

## 横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会

## 事務局名簿

## こども青少年局

区分	所 属	氏 名
部長	保育・教育部長	渡辺 将
	保育対策等担当部長	飯田 学
課長	企画調整課長	原 弘岳
	保育・教育支援課長	大槻 彰良
	保育・教育支援課 人材育成・向上支援担当課長	八木 慶子
	こども施設整備課長	野澤 裕美
	保育対策課長	高林 悠紀
	保育対策課担当課長	須山 次郎
係長	企画調整課担当係長	後藤 佑介
	保育・教育支援課 事業調整係長	矢原 亜紀
	こども施設整備課 整備等担当係長	尾熊 英夫
	こども施設整備課 担当係長	後藤 崇
	保育対策課 担当係長	中尾 充

## 「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」の点検・評価方法（案）について

令和8年度から実施する「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」（以下「わくわくプラン」という。）の点検・評価について、子ども・子育て会議の意見等も踏まえ、以下のとおり案を作成しましたので報告します。

## 1 重点テーマの点検・評価方法【新設】

第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画における各施策の指標に関する点検・評価と同様、進捗率の評価を行います。また、重点テーマで掲げた計画期間中の「方向性」に関して、当該年度に実施した「主な取組」と次年度以降に取り組む「今後の取組」を記載します。

## 2 各施策の指標、主な事業・取組に関する点検・評価方法【見直し】

有効性の評価方法を見直すとともに、備考欄の記載方法を見直します。（下記表の赤枠部分）

	想定事業量	評価基準		備考	その他
		進捗状況	有効性		
事業	計画期間当初実績及び最終年想定	4段階（S～C）	4段階（S～C）	自由記載	予算額、所管

## (1) 有効性について

## ア 現行の評価方法・課題と変更案

現行	（評価方法） 利用者、実施事業者からの意見・評価を踏まえ、当該事業・取組が市民生活等の向上にどの程度貢献したかを4段階（SABC）で評価	
	S	市民生活等を向上させることができ、利用者、実施事業者からの評価も高い
	A	市民生活等を向上させることができた
	B	市民生活等を向上させることができたとは言えない
	C	市民生活等を向上させることができず、利用者、実施事業者からの評価も低い
	（課題） ・「市民生活等を向上させることができた」と「利用者、実施事業者からの評価も高い」など基準が明確でないため、評価の傾向にばらつきがある（所管や年度別で見ても大きく変わることがある） ・評価がS及びAに集中している	

↓↓

## 【子ども・子育て会議での主な意見】

昨年度Sだったものが一律でAに変わっている。全体のバランスを見て今回見直したとのことだが、第三期に向けてはわかりやすい指標の設定をお願いしたい。

変更案	次の（イ）の基準に基づき、特に有効性が高いと判断した事業に「○」、客観的な根拠に基づいて有効性を測れていない場合は「※」をつける。
-----	---

## イ 有効性の評価基準

	評価基準	評価方法	例
①	利用者・対象者の行動変容	・ アンケート ・ インタビュー ・ 追跡調査 等	・ 保育サービスの利用により就労が継続できた ・ 支援を受けたことで必要な医療・福祉サービスに自らアクセスするようになった ・ 産後の母親がセルフケアを意識し育児に前向きになった 等
②	課題解決への貢献度	・ 前後比較 ・ 関係機関の意見聴取 等	・ 地域の孤立、貧困、育児不安など、当初の社会課題に対して改善が見られたか 等
③	対象者の満足度・納得度	・ 満足度調査 ・ 自由記述の分析 等	・ サービスの質、対応の丁寧さ、情報の分かりやすさ 等

## ウ 留意事項

事業所管課の主観的評価だけではなく、アンケート・インタビュー・調査等により確認した客観的評価も踏まえ有効性を判断することとします。客観的な評価を実施できていない（もしくは、評価することがない）ものについては、原則「※」を付けることとします。

## (2) 備考欄について

以下の2点について、理由の記載を必須とします。

- ・ 進捗状況が予定より遅れている（B及びC評価）事業
- ・ 有効性の評価に「○」及び「※」をつけた事業

### 【子ども・子育て会議での主な意見】

備考欄が入っているところと入っていないところがある。進捗が問題ない事業はただしも、BやC評価の部分については理由を記載しておくべきではないか。

## 【参考】子ども・子育て会議スケジュール

開催日	本件に関する内容
R7.10～11	説明・意見聴取（各部会）
R7.11.27	説明・意見聴取（総会）
R8.3.24	点検・評価案の審議（総会）

こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランの点検・評価について <令和7年度分>

【重点テーマ1】全てのこどものウェルビーイングを支える

<アウトカム指標の進捗>

No.	指標	実績 ※各年度の年度末時点							令和7年度 進捗状況	所管課
		計画策定時 (R5年度)	目標値 (令和11年度)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		
1	青少年の地域活動拠点等において利用者の自己肯定感が高まったと感じた割合	63%	70%							青少年育成課
2	よこはま子ども・若者相談室の利用者アンケートで「気持ちが軽くなった」と回答した割合	68%	80%							青少年育成課
3	「横浜市学力・学習状況調査」における生活・学習意識調査のうち、生活意識に関する次の各項目で肯定的に回答した割合 ①将来の夢や目標を持っていますか ②自分のことが好きですか ③自分には良いところがあると思いますか	小学生 ①86.3% ②78.6% ③81.9% 中学生 ①71.0% ②71.7% ③78.2%	維持・向上							教育委員会事務局

<方向性の進捗>

(1) 他機関連携によるこども・子育て家庭の安全・安心を支えるための基盤づくりと地域ネットワーク

<これまでの主な取組>

	所管課
1	

<今後の取組>

	所管課
1	

(2) こどもが安心して過ごせる居場所や遊び場・体験活動の充実

<これまでの主な取組>

	所管課
1	

<今後の取組>

	所管課
1	

(3) 年齢や発達 の程度に応じてこどもが意見を表明でき、その意見が尊重され、「こどもまんなか社会」に生かされる仕組み

<これまでの主な取組>

	所管課
1	

<今後の取組>

	所管課
1	

こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランの 点検・評価について <令和7年度分>

【重点テーマⅡ】子育て家庭が実感できる「ゆとり」を生み出す

<アウトカム指標の進捗>

No.	指標			実績 ※各年度の年度末時点					令和7年度 進捗状況	所管課
		計画策定時 (R5年度)	目標値 (令和11年度)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		
1	子育て家庭の「時間的負担感」が軽減されていると思う人の割合	34.4%	42.5%							企画調整課
2	子育ての困り事がいつでも相談でき、「精神的負担感」が軽減されていると思う人の割合	32.1%	42.5%							企画調整課
3	子育て家庭の「経済的負担感」が軽減されていると思う人の割合	45.6%	50.6%							企画調整課
4	子育て家庭のほしい情報に簡単にアクセスできることにより、「子育ての見通し」が持てていると思う人の割合	35.9%	51.6%							企画調整課
5	こどもの「預けやすさ」が実感できている人の割合	20.1%	29.8%							企画調整課
6	親子が「身近な遊び場・居場所」で楽しむことができていると思う人の割合	51.3%	59.9%							企画調整課
7	「小1の壁」が打破されていると思う人の割合	25.4%	39.4%							企画調整課

<方向性の進捗>

(1) 時間的負担感の軽減

<これまでの主な取組>		所管課
1		

<今後の取組>		所管課
1		

(2) 精神的負担感の軽減

<これまでの主な取組>		所管課
1		

<今後の取組>		所管課
1		

(3) 経済的負担感の軽減

<これまでの主な取組>		所管課
1		

<今後の取組>		所管課
1		

こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランの 点検・評価について <令和7年度分>

【基本施策〇】〇〇〇〇について

<指標の進捗>

No.	アウトカム	指標	指標		実績 ※各年度の年度末時点					令和7年度 進捗状況	所管課
			直近の現状値 (R5年度)	目標値 (令和11年度)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		
1	〇〇	〇〇	〇〇%	〇〇%							〇〇課
2	〇〇	〇〇	〇〇%	〇〇%							〇〇課

<これまでの主な取組>

	所管課
1	
2	
3	
4	
5	

<今後の取組>

	所管課
1	
2	
3	
4	
5	



【～令和 6 年度】

第 2 期横浜市子ども・子育て支援事業計画の 点検・評価について <令和 6 年度分>

【基本施策〇】〇〇〇〇について

<主な事業・取組>

単位:千円

No.	事業・取組名	想定事業量	実績 ※各年度の年度末時点							R6年度		備考	R6年度	所管課
			計画策定時 (H30年度)	R6年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	進捗 状況	有効性		予算額	
1	〇〇	〇〇	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	S	S	利用者に対するアンケートで、回答した〇%以上の方が「利用して良かった」と回答している。		〇〇課
2	〇〇	〇〇	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年	C	A	当初想定していた実績値には届いていないものの、利用者からは評価は高く、有効性は高いと考えられる。		〇〇課
3	〇〇	〇〇	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	B	A	【記載なし】		〇〇課



【令和 7 年度～】

こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランの 点検・評価について <令和 7 年度分>

【基本施策〇】〇〇〇〇について

<主な事業・取組>

単位:千円

No.	事業・取組名	想定事業量	実績 ※各年度の年度末時点							R7年度		備考	R7年度	所管課
			直近の現状値 (令和5年度)	R11年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	進捗 状況	有効性		予算額	
1	〇〇	〇〇	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年					S	○	利用者の〇%について、状態が安定・改善している。また、利用者に対するアンケートで回答した〇%以上の方が「利用して良かった」と回答しており、有効性は非常に高い。		〇〇課
2	〇〇	〇〇	〇〇人/年	〇〇人/年	〇〇人/年					C	※	〇〇が原因となり、当初想定していた実績値には届いていない。ただし、利用者や地域から本取組を求める声も多いため、次年度以降、ニーズ調査や利用者アンケート等の実施を検討し、より必要な取組を実施できるようにする。		〇〇課
3	〇〇	〇〇	〇〇%	〇〇%	〇〇%					A				〇〇課